

令和5年度からの学校生活に向けて

令和2年の2月末から、堺市立すべての学校と幼稚園が臨時休業となりました。

令和2年度が始まり、学校や幼稚園が休みのまま3ヶ月近くがたち、6月1日から分散登校・登園が始まりました。大きな混乱の中でのスタートでした。

それから3年がたとうとしています。

この3年間、学校行事がなくなったり、方法を変えたりと、我慢や混乱が多い日常でした。

しかし、徐々にその生活も元にもどりつつあります。

4月1日から、学校生活におけるマスクの取扱いが変わりました。

マスクをつけるかつかないかは、みなさんそれぞれ個人の判断に委ねられます。そして、その意思は尊重されなければなりません。

新型コロナウイルスは、風邪やインフルエンザのように、換気や手洗い、規則正しい生活を送ることなどの対策が予防に有効だということもわかっています。

これからの学校生活を元気に過ごせるよう、これらの対策を今後も続けてほしいと思います。

幼児児童生徒のみなさんへ

学校園では、マスクをつけることもつけないことも、誰にも強制されることはありません。

暑い日や運動するときにマスクをつけていると、体調が悪くなることがありますので、はずすようにしましょう。

保護者のみなさまへ

日々のお子さまの健康管理や感染症対策にご尽力いただき、ありがとうございます。

子どもたちは、3年間に及ぶマスク着用の生活に慣れ、はずしたがらない子もいます。本人の気持ちを尊重しつつ、マスクをつけることのメリットとデメリット、またマスクをはずすことで得られるコミュニケーションの大切さについても、ご家庭でお話していただきたいと思います。

教職員のみなさまへ

この3年間は、感染症対策で大変なご苦労があったことと思います。ご尽力いただき、ありがとうございます。

「コロナ前」にもどすべき取組、継続すべきよりよい取組、それぞれを精選して、今後の教育活動の推進をお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症に関わる、マスクやワクチンに対する考え方など、それぞれの意思を尊重し、それに対する差別や偏見などが起きないように、今後も子どもたちへの指導をよろしくをお願いします。

堺市教育委員会 教育長 栗井 明彦